

## Mastercard®フライトディレイパス 利用規約

Mastercardフライトディレイパスを登録する前に、以下のご利用条件をよくお読みください。

### Mastercardフライトディレイパスの当事者

Mastercardフライトディレイパス(以下「フライトディレイパス」)は、The Collinson Group Limitedおよびその関連会社(以下「当社」)がMastercardに代わって提供します。本契約を結ぶことにより、お客様は拘束力のある契約を結ぶ法的能力を有し、18歳以上であることを認められたこととなります。また [こちら](#)に掲載されている当社のプライバシーポリシーにも同意したこととなります。

### 登録資格

フライトディレイパスは、対象となる日本のMastercard会員様に提供されます。このサービスは搭乗者ご本人様(カード会員様)のみが利用できます。フライトの登録数に制限はありません。フライトがスケジュールされてから(通常は364日前以降)、いつでも登録できます。

フライトディレイパスは当社の裁量によって提供され、民間航空会社の定期便のみ登録できます。チャーター便は登録できません。複数の飛行区間がある航路では、すべての便が同じフライト番号を使用している場合を除いて、区間ごとに別々にフライトを登録する必要があります。

### フライトディレイパスの使用方法

<https://flightdelaypass.mastercard.com/tcworldelite>でフライトを登録すると、フライトディレイパスを使用できるようになります。お客様の情報を正確に登録していなかった場合、当社はフライトディレイパスの提供をお断りする権利を有します。

航空会社が遅延を当社のフライト追跡システムに正確に報告していれば、ラウンジ・キー™のラウンジがある空港のどのフライトでも登録できます。これらの条件を満たしていないフライトを登録しようとすると登録できません。

登録後に登録内容を変更することはできません。既存の登録をいったんキャンセルしてから、新しい情報で登録し直す必要があります。

お客様がご搭乗予定のフライトの出発状況を、フライト追跡システムでモニタリングします。登録が事前に完了していてラウンジが利用可能な場合、お客様のフライトが2時間(以下「遅延しきい値」)以上遅れていることをフライト追跡システムが検知した場合に、フライト遅延パスがラウンジ・キー™を介してお客様と同伴者1名様に空港ラウンジのパスを提供します。ラウンジパスが届くというSMS通知に続いて、ラウンジパスがお客様の登録済みEメールアドレスに配信され、登録済み携帯電話番号にもSMSで送信されます。フライトディレイパスのご利用には、登録時にお客様が入力されたSMSまたはEメールアカウントにアクセスでき、ラウンジパスのEメールを表示できる必要があります。

1回のフライトで何度か追加で遅延が発表される場合は、その1回のフライトでの合計遅延時間が2時間となった場合にラウンジパスが発行されます。

当社とお客様は、空港ラウンジの利用資格獲得の有無についてフライト追跡システムを基に判断します。お客様には、当社がフライト追跡システムの正確性を保証できないことをご了

承いただくとともに、フライトの出発時刻の確認を同システムに頼らないようお願いいたします。

空港ラウンジのパスは、フライト当日(24時間以内)にお客様に送信いたします。旅行中の別の日に利用することはできません。欠航したフライトや翌日(出発予定時刻から24時間以上後)に振り替えとなったフライトは遅延とは見なされず、各航空会社が独自の補償手続きに従って直接処理します。

フライトディレイパスの確認メールに名前が記載されているご本人様のみが空港ラウンジを利用できます。

フライトディレイパスはお客様ご本人様にのみ提供され、譲渡、返金、変更はできません。

空港ラウンジに入室することにより、ラウンジの規則とポリシーに従うことに同意したことになります。

ラウンジ利用者に提供される追加のお食事、およびビジネス設備や会議設備のご利用に追加料金が課される可能性があることをご了承いただきます。当該料金は、お客様の責任となります。いかなる場合も、当社は当該料金に対して責任を負いません。

## 価格とお支払い

本サービスは、カード発行会社が無償で提供します。

## 責任

万一、当社が本規約に従わなかった場合は、加盟ラウンジのラウンジパスの発行のみが当社の責任となります。ラウンジパスは返金不可で、現金との交換はできません。誤解を避けるために記すと、自己負担の費用や経費、または自費でラウンジを利用された場合に空港で生じたラウンジ利用料金については、当社が払い戻す責任はありません。

本利用規約に従わなかった結果生じた以下の種類の損害について、当社は責任を負いません。

- 収入または収益の損失
- 取引上の損失
- 利益の損失
- 予想貯蓄の損失

当社は、当社の支配が及ばない事由による本規約の義務の不履行や履行遅滞については、いかなる義務も責任も負いません。当社の支配が及ばない事由とは、ストライキ、ロックアウト、その他の第三者による争議、内乱、暴動、侵略、テロ攻撃やテロ攻撃の脅威、戦争(宣戦布告の有無を問わず)、戦争の脅威や準備、火災、爆発、嵐、洪水、地震、陥没、伝染病、その他の自然災害、公共または私設の通信網の障害など、合理的支配が及ばない行為や不可抗力の出来事を指します。

この契約のいかなる条項も、以下に対する当社の責任を除外または制限することはありません。

- 当社の過失が招いた死亡や怪我
- 詐欺または詐欺的不実告知

- Sale of Goods Act 1979(1979年物品売買法)の第12条またはSupply of Goods and Services Act 1982(1982年動産およびサービス提供法)の第2条が示唆する義務の違反
- その他、当社による責任の除外または責任を除外する試みが違法になる事項

加盟空港ラウンジのサービスのご利用にあたり、ラウンジの使用に起因または関連して生じた損害や責任は、当該ラウンジの責任となります。当社はお客様と加盟ラウンジとの係争には関与しません。

"また、加盟ラウンジを通して利用する商品サービスに対するいかなる保証もいたしません。

お客様は、フライトディレイパスの使用によって生じた怪我や死亡、器物損壊に対する全ての責任、損害、損失、請求、訴訟、判決、費用、経費(合理的な弁護士費用を含む)から、Mastercard、Collinson Insurance Services Limitedおよびその関連会社とグループ会社、取締役、役員、社員、代理店(併せて「被免責当事者」)を弁護、保護、免責することに合意します。但し、被免責当事者による重大な過失または故意の不正行為がある場合は、免責の対象となりません。

## 通知

お客様は、当社との連絡を主に電子的に行うことに同意するものとします。契約上、お客様はこの電子的な通信手段に合意し、当社がお客様に電子形態で提供する契約、通知、情報、その他の連絡はすべて、通信が文書で行われた場合と同様の法的拘束力を持つことを認めるものとします。本ご利用条件は、お客様の制定法上の権利には影響しません。<br><br>

なお、インターネットプロバイダーと個人との契約によっては、Eメールにアクセスするたびに、ローカルのインターネットアクセス料金が課金される可能性があります。フライトディレイパスサービスを利用した結果生じた費用は、お客様の単独責任となります。

## 本契約を改定・破棄する権利

当社は本契約をいつでも改定または解除する権利を有しており、実行した時点で直ちに効力が発生します。

## カスタマーサービス

フライトディレイパスについて問題がある場合は、フライトディレイパスのカスタマーサービスまでお電話かEメールでご連絡ください。連絡先は、「フライトディレイパス」プログラムのウェブサイトにある「お問い合わせ」ページでご確認いただけます。

<p>お客様からのお問い合わせが届き次第、当社で最終的な回答を確認するか、回答予定日をお知らせします。一度で正確にご回答をすることを目指しております。当社に不手際があった場合は、速やかに改善いたします。

## その他の重要条項

本利用規約の下、当社は権利や義務を別の組織に譲渡する可能性があります。その場合は常に、お客様に文書でお知らせしますが、本利用規約で定めるお客様の権利や義務には影響しません。

本契約はお客様と当社との間で交わされます。いずれの条項も第三者が執行する権利はありません。

これらの条文の各項はそれぞれ個別に効力を発揮します。裁判所または関連当局がいずれかの条項を違法と判断した場合でも、残りの条項には完全な効力が存続します。

当社が本規約に従って義務を履行するようお客様に要求しなかった場合、お客様に対する当社の権利を行使しなかった場合、または権利行使が遅滞した場合でも、当社がお客様に対する権利を放棄したことにはならず、お客様がその義務を順守しなくてもよいという意味にはなりません。当社がお客様による義務の不履行を免除する場合は文書でのみ行いますが、それはお客様による以降の不履行を自動的に免除することにはなりません。

本規約は英国の法律に準拠します。お客様と当社は、英国の裁判所の専属的管轄権に従うものとしします。

### **Mastercard®フライトディレイパス(MCFDP)のラウンジパス（ラウンジ・キー・パス）：ご利用条件**

ラウンジ・キーは、LKIが直接または提携組織を通して提供する電子パス、バーコード、QRコード、またはLKIが裁量によって随時文書で定めるその他のアクセス形態(以下「アクセス手段」)を使用して、お客様が特定の空港ラウンジを利用できるグローバルな空港ラウンジアクセスプログラムです。ラウンジの入室・利用資格を持つラウンジ・キー・パスのお客様であることを証明するため、空港ラウンジでは必ずアクセス手段を提示する必要があります。

1. ラウンジ・キーはその基盤となるテクノロジー、プラットフォーム、運用モデルであり、ラウンジ・キー・パス・プログラムとラウンジ・キー・パスの使用を可能にします。
2. ラウンジ・キー・パスのお客様は、ラウンジ・キーのプログラムを利用することによって、MCFDPラウンジ・キー・パスのご利用条件に同意し、これを受諾したものと見なされます。MCFDPラウンジ・キー・パスのご利用条件は、ラウンジ・キー・パスの利用に関連して提供されたその他すべての利用規約に優先します。
3. ラウンジ・キー・パスの使用は譲渡不可で、お客様はラウンジ・キー・パスに明記されている有効期限までラウンジ・キー・パスを使用できます。ラウンジ・キー・パスを、ラウンジ・キー・パスの利用資格を持たない第三者が利用することはできません。
4. ラウンジに入室するには、有効なアクセス手段と共に、パスポート、マイナンバー、運転免許証などの身分証明書を提示する必要があります。
5. ラウンジ入室時にアクセス手段を提示する際、ラウンジ・キー・パスのお客様は、ラウンジ・キー・パス・プログラムを利用してラウンジに入室したいとラウンジ係員に伝える必要があります。ラウンジ係員は利用資格を確認するため、アクセス手段を目視確認してから、カードリーダーでアクセス手段を電子的に記録するか、その他の方法で情報をセキュアなシステムに入力します。
6. ラウンジ・キー・パスのお客様のアクセス手段の電子記録は、お客様が当該ラウンジを利用した正当な証拠と見なされます。
7. ラウンジへのお子様の入室可否とその料金は、ラウンジによって異なります。ラウンジ・キー・パスのお客様は、ご旅行前に個々のラウンジの説明を確認してください。
8. すべてのラウンジは、第三者機関により所有および運営されています。ラウンジ・キー・パスのお客様および同伴者様(該当する場合は)、各加盟ラウンジの規則と方針に従わなければなりません。また、ラウンジへの登録が継続的なアクセスを保証するものではないことを了

承するものとします。ラウンジ・キー・パスのお客様は、ラウンジ入室の許可、時間帯によるラウンジへの入室者数制限、提供される設備、営業開始・終了時刻、滞在可能な時間および延長料金、ラウンジスタッフの人事など、ラウンジ運営団体の決定に対して、LKIおよびその関連会社が一切影響力を持たないことを了承するものとします。LKIは広告通りの特典および設備の提供に努めますが、お客様は、特典および設備の全部または一部がお客様の訪問時に利用可能であることをLKIおよびその関連会社が約束または保証するものではないことを了承するものとします。

9. ラウンジ・キー・パスのお客様は、広告の特典および設備(全部または一部)が提供された場合、または提供されなかった場合に、お客様や同伴者様に生じたいかなる損害に対しても、LKIが責任を負わないことに同意するものとします。

10. 加盟ラウンジにはフライト情報を告知する義務はなく、ラウンジ・キー・パスのお客様または同伴者様(あるいは両方)は、予定の飛行機に搭乗できなかったことで生じた直接的または間接的な損害に対し、LKIおよびその関連会社が責任を負わないことに同意するものとします。訪問先の入国要件を確認し、渡航に必要な正しい文書を準備することはお客様の責任です。

11. アルコール飲料の無料提供(国内法で許可される場合)は各ラウンジ運営団体の自由裁量であり、ラウンジにより提供量に制限がある場合や有料の場合があります。このような場合、お客様は有料分の代金をラウンジスタッフに直接支払うものとします。(詳しくは、各ラウンジの説明でご確認ください。)

12. 電話およびWi-Fi設備(利用可能な場合)の設置状況はラウンジによって異なり、ラウンジ運営団体の自由裁量によって提供されています。通常、無料通話は、市内通話のみに制限されています。その他のラウンジ設備の利用料金は各ラウンジ運営団体の自由裁量によるものであり、ラウンジ・キー・パスのお客様はこれらの料金をラウンジスタッフに直接支払うものとします。

13. ラウンジに入室する際、ラウンジ・キー・パスのお客様はラウンジ利用当日の有効な航空券と渡航文書を所持している必要があります。航空会社、空港職員および旅行業界の従業員が割引航空券を利用している場合は、入室できない場合があります。米国以外の地域では、出発便の有効な搭乗券に加えて航空券を所持している必要があります(出国の乗客のみ)。なお、ヨーロッパの一部のラウンジは空港内のシェンゲン圏内便エリアに位置しており、シェンゲン協定加盟国間を渡航するラウンジ・キー・パスのお客様以外はご利用になれません(シェンゲン協定加盟国の最新リストは[http://ec.europa.eu/dgs/home-affairs/what-we-do/policies/borders-and-visas/schengen/index\\_en.htm](http://ec.europa.eu/dgs/home-affairs/what-we-do/policies/borders-and-visas/schengen/index_en.htm)に掲載されています)。

14. ラウンジ入室の際、各ラウンジの利用規約に従ったマナーや服装が必要であり、利用規約に反する場合は、ラウンジからの退出を求められる可能性があります。利用規約に従わないお客様または同伴者様の入室をラウンジ運営団体が拒否したことによって、お客様に生じた損害に対し、LKIおよびその関連会社は一切責任を負いません。

15. 法律で許される最大の範囲において、ラウンジ・キー・パスのお客様が加盟ラウンジをご利用中の行動や、ラウンジに持ち込んだ所持品に関して、LKIおよびその関連会社は一切責任を負いません。

16. アクセス手段の紛失、盗難、損傷に際しては、代替アクセス手段を提供する責任がある当該クライアント組織に届け出てください。LKIは、紛失、盗難、損傷に遭ったアクセス手段を交換する責任を負わず、アクセス手段の交換手続き中にラウンジ・キー・パスのお客様がラウンジを利用できない場合でも、これに対する責任を負いません。

17. LKIおよびその関連会社は、ラウンジ・キー・パスのお客様とラウンジ運営団体との間に生じ得る係争に責任を負わず、このような係争に関連する費用、損害、損失、経費にも責任を負いません。

18. LKIおよびその関連会社は、単独の自由裁量により予告なくいつでもラウンジ・キー・パスの有効性を破棄する権利、またはラウンジ・キー・パス・プログラムを終了する権利を留保します。

19. ラウンジ・キー・パスのお客様は、お客様がラウンジを利用することによって生じた怪我や死亡、あるいは器物損壊に対する全ての責任、損害、損失、請求、訴訟、判決、費用、経費(合理的な弁護士費用を含む)から、LKIおよびその取締役、役員、従業員、代理店(併せて「被免責当事者」)を弁護、保護、免責することに合意します。但し、被免責当事者による重大な過失または故意の不正行為がある場合は、免責の対象となりません。

20. LKIおよびその関連会社は、ラウンジ・キー・パスのお客様がラウンジ・キー・パスを利用した結果として生じた所得税、使用税、物品税、その他の納税義務に関して一切の表明を行いません。詳細についてお客様は、会計士または税務助言者に確認するようお勧めいたします。ラウンジ・キー・パス・プログラムに入会した結果、納税義務が生じた場合は、お客様の単独責任となります。

21. ラウンジ・キー・パス・プログラムに参加することにより、お客様は個人データがラウンジ・キーのプライバシーポリシー(<https://loungefinder.loungekey.com/privacy-policy>)  
><https://loungefinder.loungekey.com/privacy-policy>)に従って使用されることに同意するものとします。

22. ラウンジ・キー・パスに関するお問い合わせは、LKIまでご連絡ください。なお、ラウンジのご利用に関する苦情等のお問い合わせは、ラウンジのご利用から6か月以内にLKIに直接ご連絡ください。

23. LKIおよびその関連会社は常に、ラウンジ・キー・パスのお客様に対するサービスの改善に努めています。そのため、LKIおよびその関連会社は、サービスの管理や改善を目的としてラウンジ・キー・パスのお客様との通話内容をモニタリングする場合があります。

24. LKIおよびその関連会社は、状況に応じて合理的な事前通知をすることを条件に、MCFDPラウンジ・キー・パスの利用条件をいつでも変更する権利を留保します。

25. 現地の法規制で許される範囲内で、MCFDPラウンジ・キー・パスの利用条件は英国の法律に準拠し、これに従って解釈されるものとします。ラウンジ・キーおよびラウンジ・キー・パスのお客様は、当事者間のあらゆる係争を解決するために英国の裁判所の非専属管轄権に従うものとします。

26. MCFDPラウンジ・キー・パスの利用条件のいずれかの条項が所轄官庁および裁判所によって無効または執行不能と判断された場合でも、その条項以外の条項は影響を受けることなく有効と見なされます。

27. MCFDPラウンジ・キー・パスの利用条件の英語版と翻訳版の間に意味の不一致がある場合は、英語版が優先されるものとします。